

印西大師 第47番 物木・龍湖寺

1 名称 (No.047)〔手引鏡：竜湖寺〕〔資料館：竜湖寺〕〔行程表：竜湖寺〕

2 場所 印西市物木大森213 龍湖寺

瀧水寺から道程約1500m

GPS座標 35.81959720212577, 140.18908898325174

3 由緒 曹洞宗少林山龍湖寺

物木村字裏山にあり 曹洞宗にして小本寺迎福寺末なり 延命地藏佛を本尊とす 建久二年亥年八月開山 覺海賛元禪師創立 享禄元戊午年三月初世睦翁伊闇和尚再建 檀徒250人（印旛郡誌）



4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が2体あり。

5 境内 大師堂のまわりは広く、本堂、山門、墓地などがある。

6 写真 (2019.07、2019.08、2022.10撮影)



大師堂



御大師様(左)



御大師様(右)



本堂



御大師様



山門

7 情報

(1) 印西大師 第47番 龍湖寺 御詠歌（泉倉寺本による）

花を見て歌よむ人は八坂寺 三佛性(じょう)の縁とこそ聞け

四国八十八ヶ所 第47番 真言宗醍醐派 熊野山(くまのざん) 妙見院 八坂寺(やさかじ) 写し

(2) 印西市指定 龍湖寺絵馬

龍湖寺は覚海賛元（かくかいさんげん）禪師が救世安民のため、安産子育ての大請願を起こし、建久二年（一一九一年）に創建された古刹で、古くから安産・子育てに靈驗ある寺院として知られています。写真は元治元年（一八六四年）に奉納された女衆拝み図で、女性たちが降臨した龍湖寺の開祖様（覚海賛元禪師）を拝んでいる様子が描かれています。本堂左側の開山



堂には十一枚の絵馬が奉納されており、すべて市文化財に指定されています。絵馬には奉納年月と奉納者名が記され、年代は文政十二年（一八二九年）から明治二十二年（一八八九年）の間で、講中が印西市、印旛村（現印西市）、本埜村（現印西市）、我孫子市、成田市、栄町と広範囲に見られることから、近在の婦人達が絵馬を奉納して信仰を深めていた事と、安産・子育ての信仰が周辺地域まで及んでいた事がわかります。龍湖寺の絵馬は、江戸時代後半から明治期における信仰や風俗（女性の髪形や着物）の様子、絵画技術などを今に伝える貴重な文化財です。平成二十三年二月二十五日 印西市教育委員会（現地案内板より）

(3) 龍湖寺絵馬（11面）



龍湖寺を開いた覚海賛元禅師は、安産、子育ての祈禱を良くし、靈驗があつて信仰されたと言われています。そのため、近在の婦人たちが講をつくり、禅師に対する「拝み絵馬」を奉納しました。江戸時代中期から明治時代中期にわたって奉納されたこれらの絵馬は、いずれも横1メートル以上ある大型の絵馬で、当時の信仰の形態、婦人の風俗、絵画技術などを窺うことができる貴重な資料です。（印西市HPより）